

目 次

「臨床薬理」 第39巻 第5号 2008年9月

第29回日本臨床薬理学会年会のお知らせ(7)	143E
特集／日本における動脈硬化性疾患の臨床試験	
意義、実施体制、デザインとエンドポイントに関する考察、結果の解釈	
卷頭言.....	植田真一郎.....141
1. 日本における動脈硬化性疾患の臨床試験 —デザインとエンドポイント、結果から考案する今後の課題—.....	植田真一郎.....143
2. MEGA研究.....	渡邊 裕司.....147
3. CASE-J研究.....	大蔵 隆文ほか.....151
4. JIKEI HEART研究.....	三輪 宜一.....157
5. JATOS研究.....	南澤 康介.....163
6. JELIS研究.....	安 隆則.....167
SHORT COMMUNICATION	
健康食品と医薬品の併用における有害事象の因果関係判定のための 評価分類基準の検討.....	清水 雅之ほか.....169
フォーラム	
後発医薬品会社における個別症例安全性報告の因果関係評価基準.....	高月 公博ほか.....173
臨床試験支援者の教育システム構築のための現状把握および 教育コンテンツの検討.....	小川 智美ほか.....181
TOPICS	
平成19年度文部科学省「社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム」 (医療人GP)の紹介	
琉球大学「臨床研究専門医と上級CRC育成プログラム」.....	植田真一郎.....187
東京慈恵会医科大学「プライマリケア現場の臨床研究者の育成」プログラム.....	松島 雅人.....191
第14回 臨床薬理学講習会(2007年度)	
「エビデンスの読み方・使い方」	
1. 「エビデンス」とEBM.....	福井 次矢.....197
2. エビデンスの読み方：「研究方法」を読む.....	佐藤 俊哉.....205
3. 薬剤経済学を用いた医薬品の科学的な選択と評価.....	井上 忠夫.....209
4. 心房細動治療におけるアップストリームアプローチ —ダウンストリームアプローチ.....	新田 順一.....215
5. 抗癌剤治療の変遷と臨床薬理学の関わり.....	渡辺 亨.....219
6. 千葉大学精神科統合失調症薬物治療手順2007 —エビデンスに基づく治療アルゴリズムはユーザーの役に立つか?—.....	渡邊 博幸.....225
第28回 日本臨床薬理学会年会記録	
シンポジウム12 病院における臨床薬理学の役割と貢献.....	131S
第2回 日本臨床薬理学会／日本薬理学会共催シンポジウム記録	
「β遮断薬 心不全薬としての薬理から臨床薬理」.....	145S
書評	
日本臨床薬理学会定款.....	149E
日本臨床薬理学会役員・委員会委員一覧.....	157E
日本臨床薬理学会会員名簿.....	161E
投稿規定	
おしらせ	
2008年度日本臨床薬理学会海外研修員決定.....	197E
2009年度日本臨床薬理学会研修員、CRC海外研修員募集要項.....	197E
日本臨床薬理学会海外研究員、CRC海外研修員名簿一覧 他.....	200E

PROCEEDINGS

第28回 日本臨床薬理学会年会記録

日時 2007年11月28日（水）～12月1日（土）

場所 栃木県総合文化センター、宇都宮東武ホテルグランデ（宇都宮）

会長 藤村 昭夫（自治医科大学臨床薬理学）

シンポジウム12：病院における臨床薬理学の役割と貢献	（座長）野元正弘、伊藤真也
座長のまとめ	野元 正弘ほか… 132S
1. トロント大学関連病院の臨床薬理：その診療と教育	伊 藤 真 也… 133S
2. 内科診療科の臨床薬理	永 井 将 弘… 135S
3. 浜松医科大学附属病院における新診療科「臨床薬理内科」の設立	渡 邊 裕 司… 137S
4. 自治医科大学附属病院における臨床薬理学の役割と貢献	鶴 岡 秀 一… 139S
5. Why Should Your Hospital Have a Department of Clinical Pharmacology ? Experience from UK	Simon Maxwell… 141S

Proceedings of the 28th Annual Meeting of the Japanese Society of Clinical Pharmacology and Therapeutics

November 28–December 1, 2007 (Utsunomiya)

President: Akio FUJIMURA (Jichi Medical University)

Symposium 12 Contributions of Clinical Pharmacology in the Hospital

Summary	Masahiro NOMOTO, et al.	132S
1. Clinical Pharmacology in University of Tronto : Clinical and Educational Activity	Shinya ITO	133S
2. Clinical Pharmacology as One of Departments of Internal Medicine	Masahiro NAGAI	135S
3. The Establishment of New Clinical Department “Clinical Pharmacology and Therapeutics” in Hamamatsu University Hospital	Hiroshi WATANABE	137S
4. Role of Clinical Pharmacology in Jichi Medical University Hospital	Shuichi TSURUOKA	139S
5. Why Should Your Hospital Have a Department of Clinical Pharmacology? Experience from UK	Simon Maxwell	141S

PROCEEDINGS

第2回 日本臨床薬理学会／日本薬理学会共催シンポジウム

日時 2007年11月28日（水）

場所 栃木県総合文化センター

座長 黒瀬 等（九州大学大学院薬学研究院薬効安全性学）

植田真一郎（琉球大学大学院医学研究科薬物作用制御学）

「 β 遮断薬 心不全薬としての薬理から臨床薬理」

挨拶文	小林 真一	146S
序文	植田 真一郎	146S
1. 高血圧から心不全までの大規模介入試験からみた β 遮断薬の評価	築山 久一郎	147S
2. 臨床薬理学への期待： 心不全治療における β 遮断薬に関して求められるエビデンスは？	安 隆則	149S
3. 心不全、心肥大の基礎研究について（遺伝子改変動物を用いた心筋症研究）	三部 篤	151S
4. β 遮断薬の本邦におけるRCT JCHF研究とゲノム薬理学の可能性	東 純一ほか	153S
5. β アドレナリン受容体遮断薬の薬理	黒瀬 等	155S

Proceedings of the 2nd Joint Symposium of JSCPT and JPS

November 28, 2007 (Utsunomiya)

Chairman: Hitoshi KUROSE (Kyusyu University)

Shinichiro UEDA (University of the Ryukyus)

 β -Blocker for Heart Failure : from Pharmacology to Clinical Pharmacology

Greeting	Shinichi KOBAYASHI	146S
Foreword	Shinichiro UEDA	146S
1. β -Blockers in the Treatment of Cardiovascular Disease : An Update on the Recent Clinical Trial Evidence	Hisao TSUKIYAMA	147S
2. What should be the Next Evidence Regarding β -Blocker for Heart Failure?	Takanori YASU	149S
3. Basic Study of Heart Failure and Cardiac Hypertrophy : Cardiomyopathy Study Using Transgenic Animals	Atsushi SANBE	151S
4. Randomized Clinical Trial of β -Blocker for Heart Failure in Japan (J-CHF): A Future Perspective of Pharmacogenomic Study	Junichi AZUMA, et al.	153S
5. Pharmacology of β -Blockers	Hitoshi KUROSE	155S